

東京華僑總會、台湾中南部 台風被災に義援金50万円

廖雅彦会長、中国大使館訪ね寄託

八月二十五日午前、東の被災者に対する義援金
京華僑總會の廖雅彦会長
は、中国大使館に許澤友
参事官兼総領事を訪ね、
先頃、台湾中南部で発生
した台風による大雨災害

の被災者に対する義援金
五十万円を寄託した。
許澤友総領事は、世界
的な不況の中、東京華僑
總會および華聯旅行社を

皆様からの義援金に対
し、祖国政府および大使
館を代表して敬意と感謝
の意を表したい、と述べ
た。
廖会長は、台湾で大雨

被害が発生して、台湾同胞の尊い生命、財産が極めて深刻な損失を被ったことに私たちは心を痛めている。本会執行部として早々に支援を提起し、理事会の承認をみたこと、また今回、台北駐日経済文化代表処を通じて被災者の方々に義援金五十万円を寄付する予定であることを伝えた。

許澤友総領事は、現在兩岸の経済・観光面での交流は日に日に盛んになっており、兩岸の中国人民は手を携えて、経済危機と大雨被害というこの難局を乗り越えていくべきであると強調するとともに、在日華僑は歴史的な経緯から分断されてきたが、東京華僑總會が団結の核として力を発揮するよう期待する、と述べた。

このほか「入管法改正問題」や国慶60周年慶祝活動等について意見を交換した。

会談には趙奮一等書記官兼領事が同席した。

中国大使館に許澤友参事官兼総領事を訪ね、台風のため被災した台湾中南部同胞への義援金を寄託する廖雅彦東京華僑總會会長

